



即日リリース - 2013年4月12日

お問い合わせ先：ジェームズ・ファザリー

+1-202-463-5673

## 米日経済協議会、日本の環太平洋パートナーシップ (TPP) 協定交渉参加に向けた 日米事前協議が合意に達したことを歓迎

### 米日経済協議会会長レイク、「歴史的好機」と言及

米日経済協議会(USJBC)は、日本の環太平洋パートナーシップ (TPP) 協定交渉参加に向けた日米事前協議が合意に達したことを歓迎いたします。米国通商代表部の発表を受け、USJBC 会長チャールズ・レイクは、

「世界で三番目に大きい経済大国であり、また、米国にとって必要不可欠な経済および安全保障上のパートナーである日本が TPP に参加することは、日本経済を再活性化させるだけでなく、米国のみならず他の参加諸国にとっても本協定の経済・戦略上の恩恵を促進させるゲーム・チェンジャーとなるでしょう。『アベノミクス』と日本の TPP 協定交渉参加が相乗効果をはたらかせることで、日米間の経済・戦略関係をこれまで以上に強化するユニークで歴史的な好機となるでしょう。私たちは、オバマ大統領と安倍首相がこの果敢な一步を踏み出されたことに敬意を表します。」

と述べました。USJBC 副会長マーク・ノーボンは、さらにこう述べています。

「日本の TPP 参加は、アジア太平洋地域における貿易・経済問題に関して日米協力関係を強化するための広範な土台を築き、日米両国の労働者や企業はもちろん、さらに広い範囲において両国経済を活性化させます。それにより、この重要な時期に日米関係全体が大きく強化されることになるでしょう。」

USJBC はこれまで、日本が現在の TPP 参加諸国と同じ高水準かつ包括的な条件下で TPP に参加することの重要性を長年にわたって唱えてきました。日本の TPP 参加は以下の点においてゲーム・チェンジャーとなるでしょう。

- 日本が参加することで TPP は世界の GDP の 37%、世界貿易全体の 8.6%を占める規模に拡大し、より商業的意義のある協定となります。

- TPP 参加により、輸出の増加によってもたらされる同程度の恩恵を、国内改革による生産性向上からも得られることから、日本は包括的 TPP から大きな利益を得るとの研究結果も出されています。TPP は安倍首相の「三本の矢」成長戦略の重要な一項目になります。
- 日本の TPP 参加は、日米経済関係を強化することになる非常に大きな潜在力を持っています。日本と米国はすでに広範な協力的貿易関係を築いていますが、TPP は以下の点でこの関係をさらに大きく促進させるでしょう。(1)財、サービス、農業の貿易における関税および非関税障壁の撤廃に包括的に注力することで、長期的にわたって存在してきた二国間問題を解決できる。(2)「21 世紀型」協定である TPP において取り組まれている、規制の統一、知的財産権の保護、貿易円滑化、国有・国営企業(SOE)、競争といった重要な分野における新しいルールの策定に日米が共同して取り組むための枠組みを提供する。
- 知的財産権、労働者の権利、環境、透明性、競争規制等は、日米両国が高水準を誇る分野です。日本の TPP 参加は、重要な地域と位置付けられるアジア太平洋地域のこれらの分野において、相互利益を促進するための日米協力体制および日米のリーダーシップをさらに促進させるでしょう。

## USJBC について

米日経済協議会 (US-Japan Business Council) は米国の有力企業で構成され、事業を展開する産業は、航空、航空輸送、農業ビジネス、化学、消費財、金融サービス、情報技術、医療機器、医薬品、旅行、観光事業など幅広い工業・農業・サービス産業にわたります。USJBC の会員企業全体で見ると、米国から日本への貿易および投資全体において、大きなシェアを占めています。